

第70回ボランティア広場  
「作成したチラシを実際に見てもらおう！」

1. 日 時：令和3年7月3日（土）14時～16時
2. 場 所：かわぐち市民パートナーズステーション会議室1～3
3. 講 師：合同会社MACARON  
代表社員 谷 浩明
4. 参加者数：21名（団体所属 20名、一般市民 1名）

5. 要 旨

今日はみなさんに提出してもらったチラシを添削してきたので講評していく。一人あたり大体5分程度で行うが、そのうちの1分程度でみなさんにチラシの説明をしてもらおうと考えている。それを踏まえたうえでアドバイスしたい。他の参加者のチラシの添削もヒントになると思うのでよく聞いて欲しい。ただし、あくまで私個人のアドバイスであり、前回お話しした通りデザインに正解はないので参考にしてもらえればいいと思う。

少し前回の講義の振り返りをしたい。広報とは **Public Relations** の和訳であり、公衆との関係を構築することであるとお話した。広報の先には必ず受け取る人がいるので、受け取る人を意識することが重要。自分たちの情報を一方的に発信することが重要なのではなく、伝えたい相手を考えながら情報を発信していくことが重要。これは広報に限らず日常生活においても重要。今回のチラシで活かされているか確認する。伝えたい人は誰なのか、何の目的のためにチラシをつくるのか、何を伝えるのか、そのチラシで相手にどんな行動をしてほしいのか。デザイン面ではメリハリと統一感はあるかどうか、文字の大きさや色、書体は適切かどうか。余白の幅はきちんと整っているか。今お話ししたことを前回の講義で話したが、皆さんが出来ているのかどうかを確認していきたい。前回お話ししなかったが、相手に情報を伝えるうえで「5W1H」が非常に重要であるが抜けてしまっているチラシがあったので今回説明していく。「5W1H」とは「When：いつ」、いつイベントをやるのか、「Where：どこで」、どこでそのイベントをやるのか、「Who：誰に・誰が」、誰に向けてやるのか・誰がやるのか、「What：何を」、何をやるのか、「Why：なぜ」、なぜやるのか、「How：どのような」、どんな内容なのか・いくらなのか・持ち物はあるか・どのように連絡するのか。この要素がチラシに含まれないと見る人が困ってしまう。例えば、いつやるのかが書いていなければ見る人はいつやるのだろうか？と困ってしまう。今お話しした「5W1H」と連絡先は必ず分かるようにしなければならない。チラシを作り終わったら必ず確認するようにして欲しい。それではこれから1人あたり5分程度の時間をとってチラシの講評をしていく。

以下、添削の内容について抜粋

- ・ 目立たせたいところは文字を太くする。
- ・ 「！」を入れて目立たせる。
- ・ 文字列や写真についての上下左右を揃える。
- ・ あまり強調しなくていい部分については小さくすることで、目立たせたい部分のスペースを大きく使うことができる。
- ・ 書体がばらばらになってしまっているのを揃える。
- ・ 地図を載せる場合は必要な部分だけ載せ、写真等を入れて分かりやすくする。
- ・ 人を呼びこむためにキャッチフレーズを入れてあげる。例えば「コミュニケーション好き集まれ」等。
- ・ お電話お待ちしておりますと案内を入れるのであればすぐそばに電話番号を載せておく。
- ・ イメージが湧きやすいようにイラストを入れる。今はインターネットでフリー素材も多くあるのでそれを使うといい。
- ・ 専門的な言葉ではなく誰でも分かるような言葉を使う。
- ・ 写真を何枚か入れるとイメージが湧きやすい。
- ・ 外国人向けに発信する場合は日本語と外国語の併記をするといい。
- ・ タイトルをイベントの名前にするのであれば日付も続けて入れるといい。
- ・ URLの記載に加えてQRコードも載せると親切。
- ・ 写真を載せる場合は縦横の比率を変えないで載せる
- ・ 背景の色によっては文字が見えにくくなってしまうので注意する。
- ・ サブタイトルも有効に使えるといい。
- ・ 「こんな方におすすめ！」と入れてあるとどんな人に向けてのチラシか分かりやすい。
- ・ メリットを載せるといい。例えば参加するとどんないいことがあるかを載せる。
- ・ QRコードを載せる場合は何のQRコードかを分かるようにする。
- ・ 上下左右の文字列や余白の幅を揃えるとキレイに見える。
- ・ 無料か有料か、有料の場合はいくらなのかを分かりやすく載せる。
- ・ 文字を左揃えにするか、中央揃えにするか統一性を持たせるとよい。
- ・ ネガティブな表現よりポジティブな表現を使う。例えば「自分に自信がない方におすすめ」よりも「自分に自信を持ちたい」の方がいい。
- ・ イベントのチラシの場合、団体の内容は伝えたい情報の中で優先度が低いので下部に入れるようにする。
- ・ 行間やスペースにも注目して見やすいように心掛ける

2回にわたり講座を行ったが、参加された皆さんは確実にチラシ作りの知識が身に付いたと思う。今後チラシを作る際はこの講義の内容を思い出しながら作ってもらえれば今まで以上にいいチラシ作りができると思うので頑張ってください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

## 第70回ボランティア広場の様子

